

競 技 注 意 事 項

1．競技規則について

本大会は 2008 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会規定に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮して競技を進行する。

2．練習場及び練習について

- (1) 本競技場の使用時間は、午前 8 時から午前 8 時 45 分までの 45 分間とし、スパイクシューズでのウォーミングアップは認めない。また、フィールド内での練習は禁止とする。
- (2) 補助競技場(武道館南側)の使用時間は、午前 8 時から午後 4 時 00 分までとする。ただし、補助競技場へは引率者同伴で行き、練習はウォームアップ場系の指示を守り、安全に十分注意して練習すること。練習以外のために補助競技場を使用することは認めない。
- (3) 補助競技場のレーン使用区分は、原則として次のとおりとする。
 - 1,2 レーンは男子 1000m 走・女子 800m 走
 - ホームストレート 3～8 レーンは短距離走
 - バックストレート 3～8 レーンはリレー

3．招集について

- (1) 招集場所は、第 1 ゲート (100m スタート側) 外側に設置する。
- (2) 選手は競技開始の 40 分前から 20 分前までに招集所で点呼(コール)を受け、待機する。同時に背・胸・腰ナンバーカード、シューズ、衣類など競技場内への持ち込み物品などの確認を受ける。
- (3) リレーオーダー用紙は、予選は 8 時 30 分までにリレーオーダー受付に、決勝は競技開始 1 時間前までに競技者係 (招集所) に提出する。

4．ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは本競技会配布のものを使用し、ユニフォームに固定する。
- (2) 競技者は、写真判定用の腰ナンバーカードを競技者係より受け取り、所定の位置に取り付け競技終了後フィニッシュライン付近で係員に返却する。

5．競技について

- (1) その競技に出場している競技者以外は、競技場内 (トラック・フィールド) に立ち入ることはできない。
- (2) 決勝の組み合わせ、およびレーン順は公正に番組編成し、その結果を競技者受付および招集所に掲示する。
- (3) 決勝進出できる選手もしくはチームは 8 名とする。ただし、8 番目の記録と同記録(1/1000 秒での判定)の者が複数で 9 名(9 チーム)になる場合は、9 レーンを使用してレースを行う。また、10 名(10 チーム)以上の場合は、8 番目の記録と同記録の者により抽選を行い決勝進出者(チーム)を決定する。(表彰は 8 位までとする)
- (4) 短距離走および 4×100m リレー各走者は競技者の安全のため走り終わってから自分の割り当てられたレーンを走ること。
- (5) 100m 走と 4×100m リレーの出発姿勢は、クラウチングスタートまたはスタンディングスター

トとする。

- (6) スタートにおけるフライング失格については、旧来ルールを適用し、同一人が 2 回目の違反をした場合は失格とする。その場合、走ることはできるが、参考記録とする。
- (7) スターティングブロックの使用は、6 年男女の 100m 走の決勝と 4 × 100m リレーの決勝のみとする。
- (8) 4 × 100m リレーは、10m の補助ゾーンを使用してもよい。
スタートマークを使用したいチームは、主催者が準備した黄テープを招集所で受け取る。
スタートマークを付けるのは 1 カ所のみとする。
リレーでスタートマークを付けたチームは、次走者が必ずはがすこと。
- (9) トラック競技は、すべて写真判定装置を使用する。

6 . 表彰について

各種目 1 位 ~ 8 位の入賞者に表彰状、1 位 ~ 3 位に副賞を授与する。

7 . 競技用靴について

- (1) 本競技場は全天候舗装である。スパイクピンの数は 11 本以内で長さ 7 ミリを超えてはならない。
- (2) 男子 1000m 走、女子 800m 走はスパイクシューズの使用を認めない。素足は認めない。

8 . その他

- (1) 医務室は、1 階大会本部付近に設置されている(「岡山県陸上競技場(桃太郎スタジアム)平面図」参照)。応急処置を必要とする事故が生じたときは、本部に連絡してから処置を受けること。
- (2) スパイクシューズの選手は、走り終わった後は、「岡山県陸上競技場(桃太郎スタジアム)平面図」で示しているように、△印の円すいの外側を歩くこと。
(100m 走、リレーの第 3 走者、第 4 走者)
第 1 ゲートをくぐり、選手招集所付近に置いてあるアップシューズにはきかえてからスタンドに帰ること。
(リレーの第 1 走者、第 2 走者)
第 2 ゲートをくぐり、第 2 ゲート付近に置いてあるアップシューズにはきかえてからスタンドに帰ること。
[注] スパイクシューズでスタンド内や玄関前などのコンクリートの所を歩くことはできない。
- (3) 横断幕は、バックスタンド最上段へ設置すること。
- (4) この大会は個人の資格で参加し、万一事故などの場合は、主催者が加入した傷害保険の範囲内で対応する。また、貴重品の管理は各自ですること。
- (5) ゴミはすべて持ち帰ること。また、ゴミ袋は持参したものを使うこと。